

新商品案内2	スピードアクセル、ファインジップ
記事広告6	ノングルー対応新ラバー「レナノス」
全日本クラブ大会優勝インタビュー8	ニッタク&チームワッキー☆
グラビア特集10	第38回全国中学校大会
大会記録14	中学校ブロック大会
大会ハイライト16	平成19年度秋季関東学生リーグ戦
大会ハイライト20	2007 日本・韓国大学生交流戦
大会記録21	平成19年度秋季関西学生リーグ戦
大会ハイライト22	第17回関正子杯小中学生大会
日本の肖像24	苦瀬博仁(東京海洋大学教授)
遠征記26	希望が丘高校中田遠征
この人のこの言葉28	藤井基男(卓球愛好家)
練習のヒント30	織部幸治(ITS三鷹代表)
気ままにタイムアウト32	佐藤正真(日産自動車監督)



9月28日㈪、日本リーグ1部の信守器材チームにスピードアクセル、ファインジップの説明会を行う

マンガ34	花丸たつきゅう/高橋達央
アスリート養成講座38	永井義人(アスリートトレーナー)
大会記録49	全日本公立大学大会
秘すれば花50	坂井英二(浅山一傳流体術家元)
ピンポン東西南北39	
第5チャンネル40	
海外レポート42	
各地レポート43	
各地ラージボール大会52	
ニッタク講習会54	
みんなのコーナー56	
編集室56	

表紙撮影 片野賢二

Message

第18回アジア選手権大会が9月17日～23日まで中国・揚州で開催された。

日本は、男子団体2位、女子団体3位、男子複3位という成績を挙げた。男子団体が2位に入ったのは、82年第6回ジャカルタ大会(インドネシア)以来25年ぶりになる。

思い起こせば、ジャカルタ大会には初の海外単独取材で行かせていただいた。それ以前の79年ビョンヤン世界大会、81年ノビスアド世界大会にはニッタクスタッフと一緒にということで困ることはなかったが、単独ということである時は少なからずプレッシャーがあった。

自分のことはさておいて。

ジャカルタ大会では、男女とも朝鮮、香港などを下し、

2位となっている。また、男子単では斉藤がのちに世界チャンピオンとなる江加良(中国)を下し3位、男子複で前原・阿部組が3位、女子複で嶋内・山下組が同じく3位に入っている。

今大会は、女子が3大会連続で3位と安定した成績を挙げた。団体に出場した福原、平野、福岡、金沢の健闘には大きな拍手を送りたい。しかしながら、男子が韓国、タイペイを下し、決勝に進んだことはそれ以上の拍手喝采とっていいだろう。ちなみに韓国の3人のランキングは110位、タイペイは125位、日本は吉田54位、水谷58位、岸川81位で計193位である。

25年前のジャカルタ大会を思い出しつつ、今大会の活躍を嬉しく思う。(片野)